

教育方針

国際社会に貢献できるリーダーを育てる

心豊かなリーダーを育てる

創造力・自己発信能力をもったリーダーを育てる

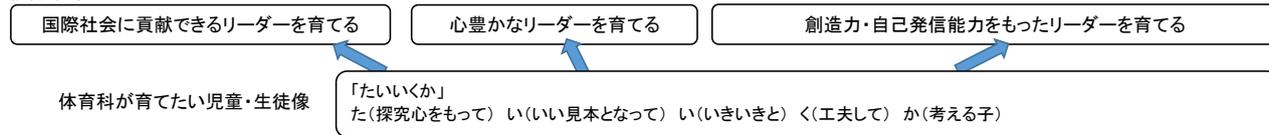
体育科が育てたい児童・生徒像

「たいいっか」  
た(探究心をもって) い(いい見本となって) い(いきいきと) く(工夫して) か(考える子)

5年

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4	集団行動	【集団行動】 集合・整列・方向転換 集団としての行動を、敏速かつ的確に行うことができる。	【Ⅰ】周りの人と動きを合わせるためには何を気を付けなければいけないのか
	新体力テスト	【新体力テスト】 50m走・立幅跳・上体起・ソフトボール投・長座体前屈・握力・反復横跳・シャトルラン 自己の体力の特徴を把握し、体力に応じた運動目標を立てられるようにする。	【Ⅰ】それぞれの種目で求められる能力に応じて必要なものは何か
5	バスケットボール	【バスケットボール】 パス・キャッチ・ドリブル・シュート・ゲーム チーム内の攻防の役割を分担し、パスやドリブルなどを使い、相手の守りをかわして攻撃する技能や防御の仕方を身に付けてゲームする。	【Ⅰ】どうすればボールをうまくつなぎ、ゴールまで運ぶことができるか 【Ⅰ】ドリブルをしているときはどこを見ていけばいいのか
	水泳	【水泳】 自己の能力に応じて、目標を立て練習することができる。得意な泳法で25～100mを泳ぐことができる。	【Ⅰ】それぞれの泳法で速く泳げるようになるためにはどうすればよいか 【Ⅰ】それぞれの泳法で長く泳ぎ続けるにはどうすればよいか
6	跳び箱運動	【跳び箱運動】 新しい技に取り組んだり、その技を加えて運動を繰り返したり、組み合わせたりできるようにする。 安定した動作での支持跳び越しができるようにする。	【Ⅰ】高い段を飛べるようにするには、何を意識することが大切か
	タグラグビー	【タグラグビー】 チーム内の攻防の役割を分担し、パスなどを使い、相手の守りをかわして攻撃する技能や防御の仕方を身に付け、ルールを理解したうえでゲームにつなげる。	【Ⅰ】ボールを持つ人がピンチの時にチームメイトはどこに移動すればパスをもらえるか。 【Ⅱ】ラグビーはどこから生まれたスポーツか
9	マット運動	【マット運動】 新しい技に取り組んだり、その技を加えて運動を繰り返したり、組み合わせたりできるようにする。 安定した動作での支持跳び越しができるようにする。	【Ⅰ】それぞれの技をするのに求められる技術は何か。また、その技術を身に付けるのに必要なものは何か。
	表現運動	【表現運動】 自己やグループの課題解決に向けて、特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。	【Ⅱ】チームで1つの作品を作り上げるには何が大切か
10	走り幅跳び	【走り幅跳び】 より遠くへ跳ぶ跳び方を身につける。 自分でいろいろな動きを試しながら、よりよい方法で跳ぶことができる。	【Ⅰ】遠くに跳ぶためには前か上のどちらに跳べばいいのか
	保健	【保健】 ・けがが起こるのなぜ？ ・学校や地域社会でのけがを防ごう ・交通事故を防ごう ・けがの手当、できるかな？	【Ⅰ】学校生活において、けがを防ぐためにはどのようなことを心がければいいか
11	持久走	【持久走】 6分間のペース走、レペーショントレーニング等のトレーニング理論を学ぶ。 女子1200m走、男子1500m走の計測を行い、自分の持久力について考察する。また、友だちと競い合う楽しさを味わう。	【Ⅰ】長い時間走り続けるためには、何を意識するとよいか。 【Ⅲ】自分が長く、なおかつ速く走れるペースはどれくらいなのか
	ソフトバレーボール	【ソフトバレーボール】 チームの課題や自己の能力に適した課題をもって次の運動を行い、その技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	【Ⅲ】どうすればチームとしてボールをつなぎ、相手コートにボールを返すことができるのか。
12	サッカー	【サッカー】 チーム内の攻防の役割を分担し、パスやドリブルなどを使い、相手の守りをかわして攻撃する技能や防御の仕方を身に付けてゲームする。	【Ⅲ】どのような作戦を立てれば、相手からゴールを奪うことができるのか。
	保健	【保健】 ・心の発達 ・心と体のつながり ・不安やなやみをかかえたとき	【Ⅱ】なぜ男女で体の発達に差が出るのか、また日本人の発達は世界と比べるとどのような違いがあるのか
1	持久走	【持久走】 6分間のペース走、レペーショントレーニング等のトレーニング理論を学ぶ。 女子1200m走、男子1500m走の計測を行い、自分の持久力について考察する。また、友だちと競い合う楽しさを味わう。	【Ⅰ】長い時間走り続けるためには、何を意識するとよいか。 【Ⅲ】自分が長く、なおかつ速く走れるペースはどれくらいなのか
2	ソフトバレーボール	【ソフトバレーボール】 チームの課題や自己の能力に適した課題をもって次の運動を行い、その技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	【Ⅲ】どうすればチームとしてボールをつなぎ、相手コートにボールを返すことができるのか。
	サッカー	【サッカー】 チーム内の攻防の役割を分担し、パスやドリブルなどを使い、相手の守りをかわして攻撃する技能や防御の仕方を身に付けてゲームする。	【Ⅲ】どのような作戦を立てれば、相手からゴールを奪うことができるのか。
3	保健	【保健】 ・心の発達 ・心と体のつながり ・不安やなやみをかかえたとき	【Ⅱ】なぜ男女で体の発達に差が出るのか、また日本人の発達は世界と比べるとどのような違いがあるのか

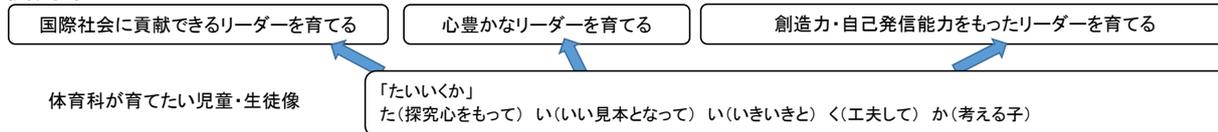
教育方針



6年

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4	集団行動	【集団行動】 集合・整列・方向転換 集団としての行動を、敏速かつ的確に行うことができる。	【Ⅰ】周りの人と動きを合わせるためには何を気付けなければいけないのか
	新体力測定	【新体力テスト】 50m走・立幅跳・上体起・ソフトボール投・長座体前屈・握力・反復横跳・シヤトルラン 自己の体力の特徴を把握し、体力に応じた運動目標を立てられるようにする。	【Ⅰ】それぞれの種目で求められる能力に応じて必要なものは何か
	バスケットボール	【バスケットボール】 パス・キャッチ・ドリブル・シュート・ゲーム チーム内の攻防の役割を分担し、パスやドリブルなどを使い、相手の守りをかわして攻撃する技能や防御の仕方を身に付けてゲームする。	【Ⅰ】どうすればボールをうまくつなぎ、ゴールまで運ぶことができるか 【Ⅱ】ドリブルをしているときはどこを見ていけばいいのか
6	水泳・跳び箱運動	【水泳】 自己の能力に応じて、目標を立て練習することができる。得意な泳法で25～100mを泳ぐことができる。	【Ⅰ】それぞれの泳法で速く泳げるようになるためにはどうすればよいか 【Ⅱ】それぞれの泳法で長く泳ぎ続けるにはどうすればよいか
	跳び箱運動	【跳び箱運動】 新しい技に取り組んだり、その技を加えて運動を繰り返したり、組み合わせたりできるようにする。 安定した動作での支持跳び越しができるようにする。	【Ⅰ】高い段を飛べるようにするには、何を意識することが大切か
9	タグラグビー	【タグラグビー】 チーム内の攻防の役割を分担し、パスなどを使い、相手の守りをかわして攻撃する技能や防御の仕方を身に付け、ルールを理解したうえでゲームにつなげる。	【Ⅰ】ボールを持つ人がピンチの時にチームメイトはどこに移動すればパスをもらえるか。 【Ⅱ】ラグビーはどこから生まれたスポーツか
	マット運動	【マット運動】 新しい技に取り組んだり、その技を加えて運動を繰り返したり、組み合わせたりできるようにする。 安定した動作での支持跳び越しができるようにする。	【Ⅰ】それぞれの技をするのに求められる技術は何か。また、その技術を身に着けるのに必要なものは何か。
	表現運動	自己やグループの課題解決に向けて、特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。	【Ⅱ】チームで1つの作品を作り上げるには何が大切か
	40mハードル	【走り幅跳び】 より速くへ跳ぶ跳び方を身につける。 自分でいろいろな動きを試しながら、よりよい方法で跳ぶことができる。	【Ⅰ】ハードルを倒さないように速く走るためには何に気を付けなければいいか
11	保健	【保健】 ・病気の起こりかた ・病原体と病気	【Ⅰ】自分が病気にならないためにはどのような生活を心がければよいか
12		・生活のしかたと病気	
1	持久走	【持久走】 6分間のペース走、レペーショントレーニング等のトレーニング理論を 女子1200m走、男子1500m走の計測を行い、自分の持久力について考察する。また、友だちと競い合う楽しさを味わう。	【Ⅰ】長い時間走り続けるためには、何を意識するとよいか。 【Ⅲ】自分が長く、なおかつ速く走れるペースはどれくらいなのか
	ソフトバレーボール	【ソフトバレーボール】 チームの課題や自己の能力に適した課題をもって次の運動を行い、その技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	【Ⅲ】どうすればチームとしてボールをつなぎ、相手コートにボールを返すことができるのか。
	サッカー	【サッカー】 チーム内の攻防の役割を分担し、パスやドリブルなどを使い、相手の守りをかわして攻撃する技能や防御の仕方を身に付けてゲームする。	【Ⅲ】どのような作戦を立てれば、相手からゴールを奪うことができるのか。
2	サッカー	・飲酒の害 ・喫煙の害 ・薬物乱用の害	

教育方針

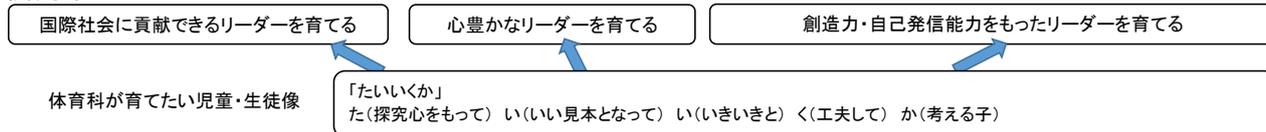


体育科が育てたい児童・生徒像

7年

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4	集団行動	【集団行動】 集合・整列・方向転換 集団としての行動を、敏速かつ的確に行うことができる。	【Ⅰ】周りの人と動きを合わせるためには何を気を付けなければいけないのか
	新体力測定	【新体力テスト】 50m走・立幅跳・上体起・ハンドボール投・長座体前屈・握力・反復横跳・20mシャトルラン 自己の体力の特徴を把握し、体力に応じた運動目標を立てられるようにする。	【Ⅰ】それぞれの種目で求められる能力に応じて必要なものは何か
5	バスケットボール	【バスケットボール】 チームの課題や自己の能力に適した課題をもって次の運動を行い、その技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	【Ⅰ】どうすればボールをうまくつなぎ、ゴールまで運ぶことができるか 【Ⅰ】ドリブルをしているときはどこを見ていけばいいのか
	水泳	【水泳】 自己の能力に応じて、目標を立て練習し、得意な泳法で25～100mを泳ぐことができる。	【Ⅰ】それぞれの泳法で速く泳げるようになるためにはどうすればよいか 【Ⅰ】それぞれの泳法で長く泳ぎ続けるにはどうすればよいか
7	マット運動	【マット運動】 自分でできる技を組み合わせ、演技の発表ができるようにする。 互いに協力して練習ができるようにするとともに、器械・器具を点検し安全に留意して練習ができるようにする。	【Ⅰ】それぞれの技をするのに求められる技術は何か。また、その技術を身に着けるのに必要なものは何か。
	保健	【保健】心身の機能の発達と心の健康 1. 体の発育・発達 2. 呼吸・循環機能の発達 3. 性機能の成熟	【Ⅲ】男女の体の違いを知った上でお互いに尊重し合えるようにするためにはどのような事に気を付ければよいか
9	ラグビー	【ラグビー】 チーム内の攻防の役割を分担し、パスなどを使い、相手の守りをかわして攻撃する技能や防御の仕方を身に付け、ルールを理解したうえでゲームにつなげる。	【Ⅰ】ボールを持つて人がピンチの時にチームメイトはどこに移動すればパスをもらえるか。 【Ⅱ】ラグビーはどこから生まれたスポーツか
	ダンス	【ダンス】 自己の能力に適した課題をもって行い、感じを込めて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりすることができるようにする	【Ⅱ】チームで1つの作品を作り上げるには何が大切か 【Ⅱ】スラム街でダンスが発展したのはなぜなのか 【Ⅲ】自分たちが踊る曲にはどのような振付が合うだろうか 【Ⅲ】ダンスでの表現力は自分自身を上手に表現することにもつながるのだろうか
	40mハードル走	【40mハードル走】 自己の能力に適した課題をもって行い、その技能を高め、技がよりよくなるようにする 互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。	【Ⅰ】スピードを落とさないように走るにはどうやってハードルをクリアすればよいか
10	剣道	【剣道】 自己の能力に適した課題をもって次の運動を行い、その技能を身に付け、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができるようにする。 伝統的な行動の仕方に留意して、互いに相手を尊重し、練習ができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。	【Ⅱ】礼儀や作法が重要視されている理由は何だろうか
	保健	【保健】心身の機能の発達と心の健康 5. 考え、感動し、決断する心 6. 人とのかかわり 7. 自分らしさ 8. 欲求やストレスへの対処	【Ⅲ】他人との適切な関わり方って何だろう
1	1000m走	【1000m走】 10分間走で自分のペースを確認し、女子は1200m走、男子は1500m走の計測を行う。 自分の持久力について考察するとともに、友だちと競い合う楽しさを味わう。	【Ⅰ】長い時間走り続けるためには、何を意識するとよいか。 【Ⅲ】自分が長く、なおかつ速く走れるペースはどれくらいなのか
	サッカー	【サッカー】 チーム内の攻防の役割を分担し、パスやドリブルなどを使い、相手の守りをかわして攻撃する技能や防御の仕方を身に付けてゲームする。	【Ⅲ】どのような作戦を立てれば、相手からゴールを奪うことができるのか。
2	バドミントン	【バドミントン】 自己の能力に適した課題をもって運動を行い、その技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	【Ⅰ】それぞれの球種を打つために必要な技術は何だろう
	保健	【保健】 1. 環境の変化に体はどう対応するか 2. 快適な環境の条件 3. 部屋の空気をきれいに	【Ⅰ】自分や周りの人が生活しやすい環境にはどんな特徴があるだろう

教育方針



体育科が育てたい児童・生徒像

8年

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4	集団行動	【集団行動】 集合・整列・方向転換 集団としての行動を、敏速かつ的確に行うことができる。	【Ⅰ】周りの人と動きを合わせるためには何を気を付けなければいけないのか
5	新体力測定	【新体力テスト】 50m走・立幅跳・上体起・ハンドボール投・長座体前屈・握力・反復横跳・20mシャトルラン 自己の体力の特徴を把握し、体力に応じた運動目標を立てられるようにする。	【Ⅰ】それぞれの種目で求められる能力に応じて必要なものは何か
	バスケットボール	【バスケットボール】 チームの課題や自己の能力に適した課題をもって次の運動を行い、その技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	【Ⅰ】どうすればボールをうまくつなぎ、ゴールまで運ぶことができるか 【Ⅰ】ドリブルをしているときはどこを見ていけばいいのか
6	水泳	【水泳】 自己の能力に応じて、目標を立て練習し、得意な泳法で25～100mを泳ぐことができる。	【Ⅰ】それぞれの泳法で速く泳げるようになるためにはどうすればよいか 【Ⅰ】それぞれの泳法で長く泳ぎ続けるにはどうすればよいか
7	跳び箱運動	【跳び箱運動】 自分でできる技を組み合わせ、演技の発表ができるようにする。 互いに協力して練習ができるようにするとともに、器械・器具を点検し安全に留意して練習ができるようにする。	【Ⅰ】高い段を飛べるようにするには、何を意識することが大切か
	保健	【保健】傷害の防止 4. 自然災害に備えて 5. 応急手当の意義と手順 6. 意識がないばあいの手当て 7. きずの手当て	【Ⅲ】もしもの事があった時に自分にできることはなにか考えてみよう
9	ラグビー	【ラグビー】 チーム内の攻防の役割を分担し、パスなどを使い、相手の守りをかわして攻撃する技能や防御の仕方を身に付け、ルールを理解したうえでゲームにつなげる。	【Ⅰ】ボールを持つて人がピンチの時にチームメイトはどこに移動すればパスをもらえるか。 【Ⅱ】ラグビーはどこから生まれたスポーツか
10	ダンス	【ダンス】 自己の能力に適した課題をもって行い、感じを込めて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりすることができるようにする	【Ⅱ】チームで1つの作品を作り上げるには何が大切か 【Ⅱ】スラム街でダンスが発展したのはなぜなのか 【Ⅲ】自分たちが踊る曲にはどのような振付が合うだろうか 【Ⅲ】ダンスでの表現力は自分自身を上手に表現することにもつながるのだろうか
	三段跳び	【三段跳び】 自己の能力に適した課題をもって行い、その技能を高め、技がよりよくできるようにする 互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。	【Ⅰ】遠くへ飛ぶためにはどうすることが大切か
12	保健	【保健】健康な生活と病気の予防 1.健康の成り立ち 2.食生活と健康 3.運動と健康 4.休養と健康	【Ⅲ】自分の健康を維持するためにはどのようなことを実践し続けることが大切か
1	持久走	【持久走】 10分間走で自分のペースを確認し、女子は1200m走、男子は1500m走の計測を行う。 自分の持久力について考察するとともに、反だちと競い合う楽しさを味わう	【Ⅰ】長い時間走り続けるためには、何を意識するとよいか。 【Ⅲ】自分が長く、なおかつ速く走れるペースはどれくらいなのか
2	サッカー	【サッカー】 チーム内の攻防の役割を分担し、パスやドリブルなどを使い、相手の守りをかわして攻撃する技能や防御の仕方を身に付けてゲームする。	【Ⅲ】どのような作戦を立てれば、相手からゴールを奪うことができるのか。
3	【保健】	自己の能力に適した課題をもって運動を行い、その技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。 【保健】健康な生活と病気の予防 6.喫煙と健康 7.飲酒と健康 8.薬物乱用と健康	【Ⅰ】自分がこれらを勧められたとき、どのように断るのが適切だろうか